



ジェルコリフォームコンテスト 2017 ビジネスモデル部門

経済産業省では平成26～27年度の2年間に「先進的なリフォーム事業者表彰」を実施。平成29年度からは、(一社)日本住宅リフォーム産業協会(ジェルコ)がリフォームコンテスト内に創設した「ビジネスモデル部門」の優秀事業者に対して、経済産業大臣賞、経済産業省製造産業局長賞を授与することで、引き続き新たなビジネスモデルの創出を推進。

経済産業大臣賞

〈新規性・独自性分野〉

株式会社 ビッグアイ

千葉県

特定の集合住宅(約9,000世帯)に対し、10年前から地域密着営業を展開。マンション内の工事中仮住まい用住居の提供や、従業員へのマナー教育等により顧客満足度の高いサービスを実施。将来の顧客創造につなげる「住まいと設備の定期点検」(年6回の有料点検、計画的な維持管理のための専有部長期メンテナンス計画の立案)を開始。意思決定の難しい分譲マンションをまるごとビジネスの対象とした、集合住宅の深耕型リフォームビジネスモデルとして高く評価。また、定期点検に基づく専有部長期修繕計画の提案を通じたリフォーム市場拡大の可能性にも期待。

〈社会的課題解決分野〉

喜多ハウジング株式会社

石川県

1世帯あたりの人員が減少し、空き家が増大している中、子育てが終了した夫婦や単身生活者に向けて、一戸建てでマンションのような生活ができるよう、2階建てを減築し平屋建てへのリフォームを行う商品「HOUSE REBORN」を開発。平屋建てにすることで、利便性、省エネ性、耐震性、断熱性を向上させるだけでなく、住み慣れた環境で住み続けられるという安心感を提供。戸建ての減築というビジネスモデルを確立し、既存ストックを優良化する点、モデルハウスを入口として、顧客を育成し、住み手とストックのミスマッチを解消している点を高く評価。

経済産業省製造産業局長賞

〈将来性・波及性分野〉

株式会社 安藤嘉助商店

岡山県

1万件を超える既存顧客を基盤に「地域密着型ワンストップサービス」を展開。リフォームの既存顧客を中心としたリハビリ特化型の通所介護サービスや遊休不動産活用など、地域における少子高齢化、空家問題への取組も実施。OB顧客を活かした工務店による地域密着型ワンストップサービスの発想と実績を評価。

〈社会的課題解決分野〉

株式会社 ワーキング・ビー

大阪府

職人不足の問題に対し、多能工の育成による解決を実践。具体的な研修プログラムを開発し、自社のみならず、他社の職人にも研修受講を可能にしているほか、施工だけでなく営業的な役割を担えるような教育も実施。職人不足という切実な社会的課題に正面から取り組む姿勢を評価。

ジェルコ会長賞

〈新規性・独自性分野〉

株式会社 スペースマイン

奈良県

自治体の協力を得て、地域の森林組合と産直住宅システムを立ち上げ、新築だけでなくリフォームでも県産材使用を標準仕様とした点を評価。

〈将来性・波及性分野〉

株式会社 スカワ

群馬県

自治体や地域新聞社の後援を得て、定期的に補助金セミナーの開催をはじめとした多面的な情報発信により信用力とブランド力向上を図っている点を評価。